

防災のし冠工法

耐震 + 軽量 + 作業性アップ = 防災のし冠工法



① 躯体と3段のし・2段素丸を棟金具で一体化

耐震性能を飛躍的にアップ！！

② 葺き土の未使用化

棟の重量 70%OFF の軽量化！
(従来工法比)

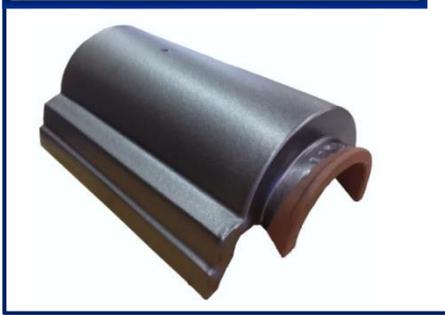
③ 一体型冠の組み合わせにより

作業性アップと施工の均一化！

3段のし



2段素丸



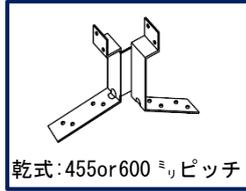
対応色：銀鱗色のみ

切妻屋根使用部材(乾式工法)

6寸カエズ足付鬼



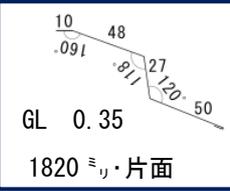
棟金具 100^{ミリ}



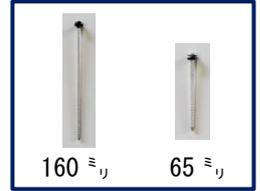
J形用 面戸シーラー



大棟下地板金



パッキン付ステンレスねじ



※現地対応品

隅棟使用部材(湿式工法)

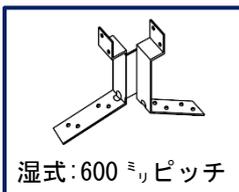
素丸 (隅棟に使用)



6寸カエズ文字鬼



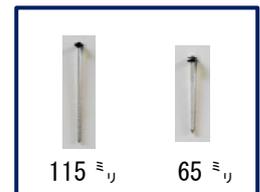
棟金具 115^{ミリ}



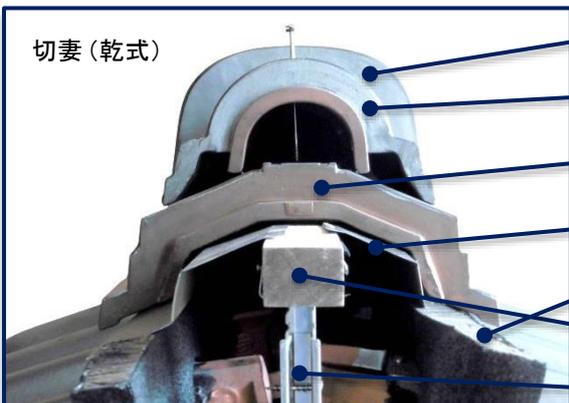
なんばん漆喰



パッキン付ステンレスねじ



施工仕様



切妻(乾式)

6寸又木(カエズ)

2段素丸・パッキン付ステンビス 160^{ミリ}×1本

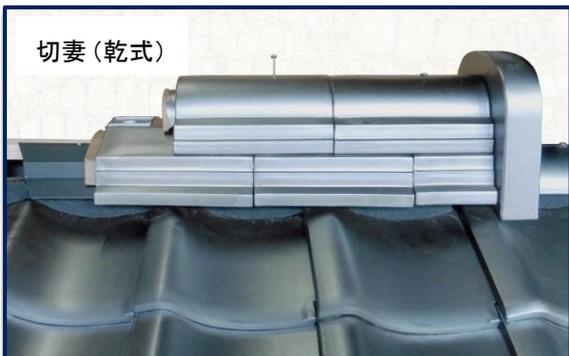
3段のし・パッキン付ステンビス 65^{ミリ}×1本

大棟下地板金 (1,770^{ミリ}・片面) ※重ね 50^{ミリ}

J形用面戸シーラー (4枚用・片面) ※上下接着有り

30×40~45材

棟金具 100 (陸棟) 455^{ミリ} or 600^{ミリ}ピッチ



切妻(乾式)



隅棟(湿式)